

平成 23 年 7 月

事故分析だより

No. 5

平成 23 年 上半期の交通事故発生状況



交通企画課

概況

上半期の交通事故発生状況(前年対比)

	発生件数	死者数	負傷者数
平成23年	7,124	77	9,167
平成22年	7,799	92	10,107
増減数	-675	-15	-940
増減率	-8.7%	-16.3%	-9.3%

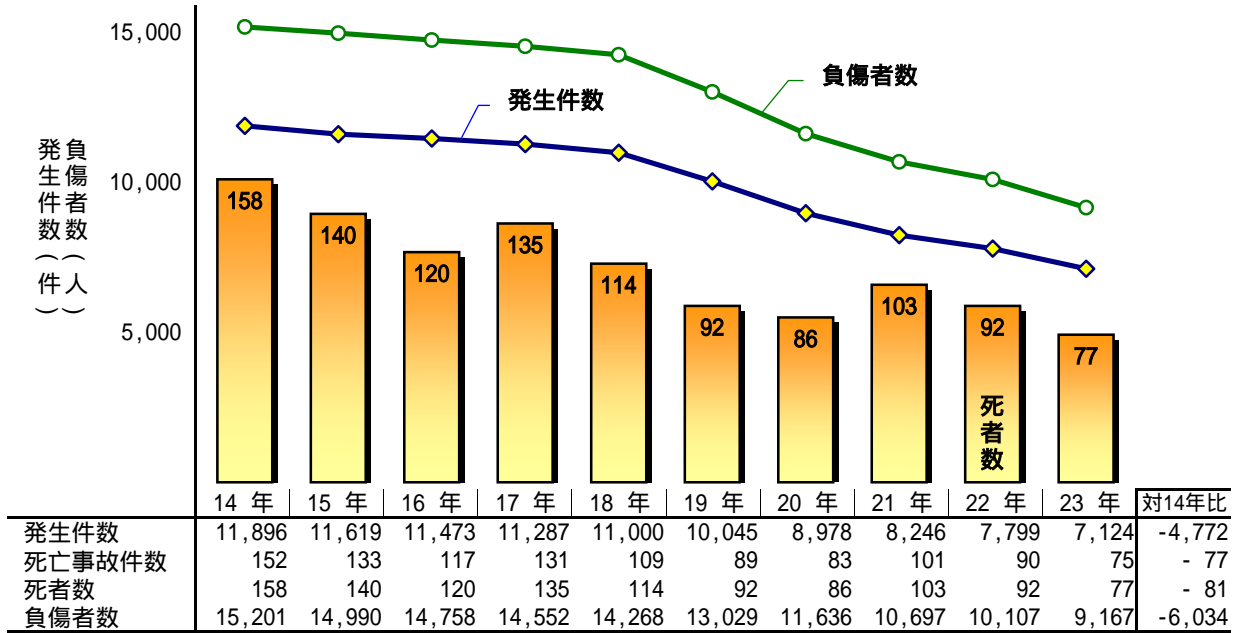
各年6月末現在。

死者数は77人 過去最少

発生件数、負傷者数は、上半期過去最多を記録した13年(発生件数:12,118件、負傷者数:15,431人)以降、10年連続で減少。

死者数は77人で、前年比 - 11人、14年(158人)に比べ半数以下と大幅な減少で、統計資料の残る昭和37年以降、最も少ない。

上半期の交通事故発生状況推移(平成14年~23年)



死者数ワースト、人口・自動車当たり死者数ワースト都道府県

死者数ワースト8位

死者数(77人)は、全国ワースト 8位(前年上半期:3位)。
 人口10万人当たりの死者数は 13位(" " : 4位)。
 自動車1万台当たりの死者数は 14位(" " : 8位)。

死者数ワースト

順位	都道府県	死者数	増減数	前年順位
1位	大阪	111	+25	4位
2位	東京	107	+3	1位
3位	愛知	103	+4	2位
4位	埼玉	90	+7	8位
5位	兵庫	88	+5	8位
6位	神奈川	79	-6	5位
7位	千葉	78	-6	7位
8位	茨城	77	-15	3位
9位	静岡	73	-3	11位
10位	福岡	72	-13	5位

全国の死者数 2,112人 -59人(-2.7%)

人口10万人当たり死者数

順位	都道府県	死者数	前年順位
1位	香川	4.22	15位
2位	徳島	3.31	5位
3位	愛媛	3.21	22位
13位	茨城	2.59	4位
全国平均		1.65	

自動車1万台当たり死者数

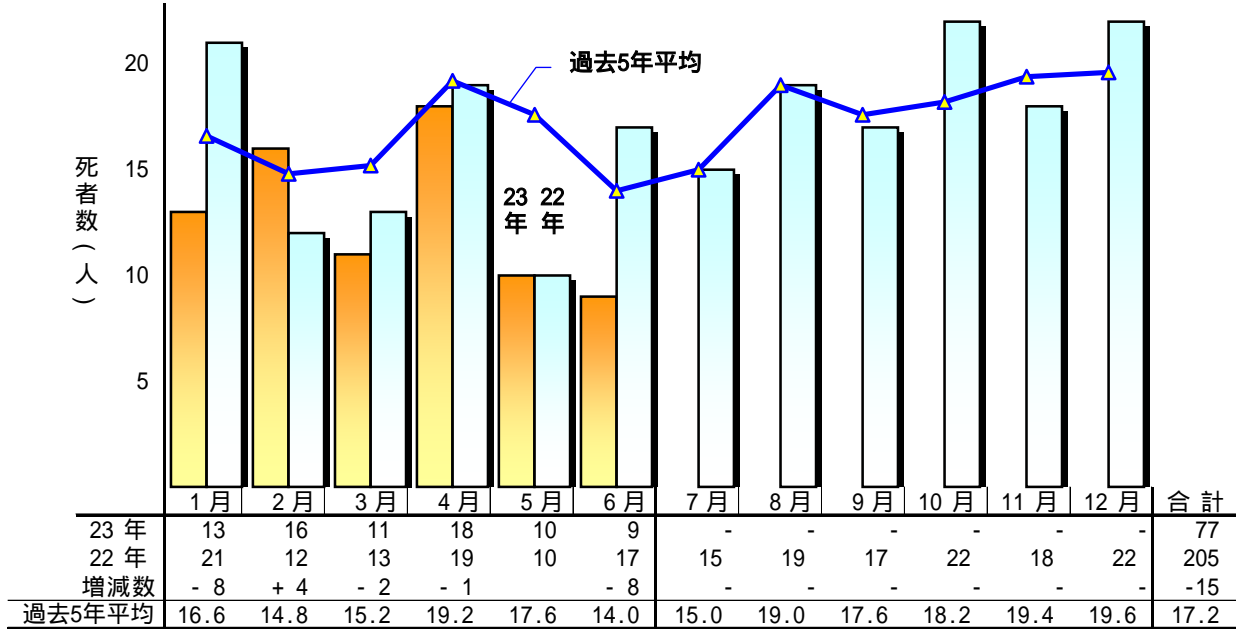
順位	都道府県	死者数	前年順位
1位	香川	0.55	19位
2位	愛媛	0.46	14位
3位	滋賀	0.45	6位
14位	茨城	0.31	8位
全国平均		0.27	

「前年順位」は6月末現在
 参照人口 : 平成22年10月1日現在
 参照自動車台数 : 平成22年12月31日現在

月別死者数の推移(前年・過去5年平均対比)

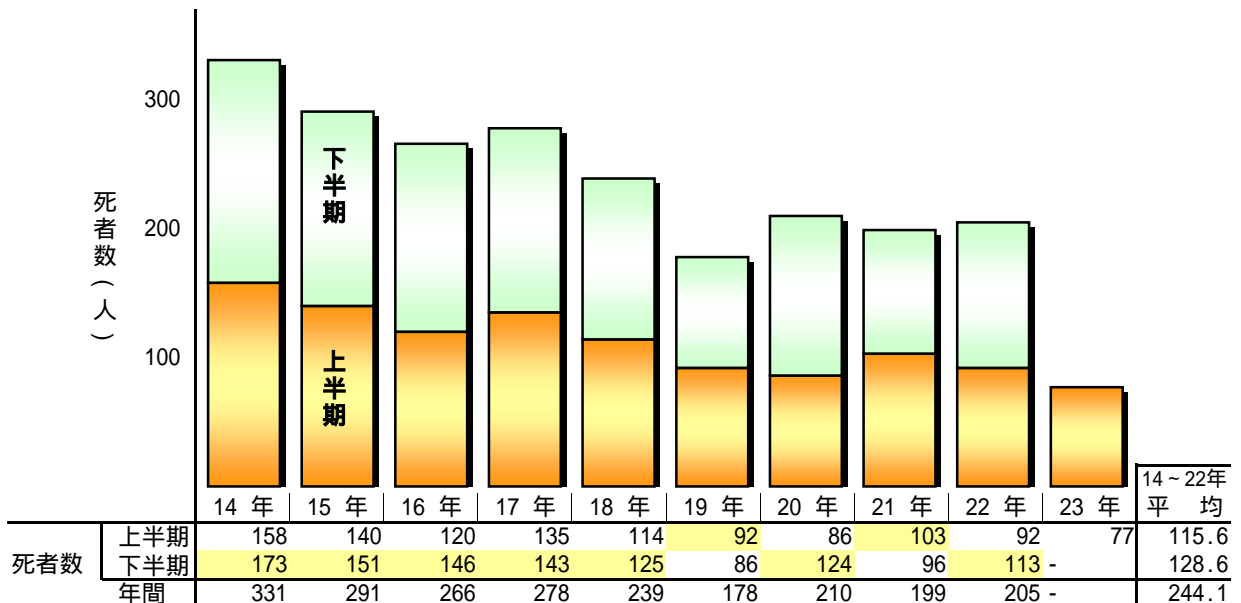
4月が最多

本年は4月(18人)が最も多く、6月(9人)が最も少ない。
 22年に比べ、2月(+4人)のみ増加、1月・6月(各-8人)が最も減少。
 過去5年間平均比では、2月(+1.2人)を除きすべて減少、特に5月(-7.6人)の減少が多い。



上半期・下半期別死者数の推移(平成14年～23年)

本年上半期(77人)は、最も少ない。次いで20年(86人)。
 14年～22年で、上半期の死者数が下半期を上回るのは、19年、21年のみ。
 14年～22年平均では、下半期(128.6人)の死者数が上半期(115.6人)より13.0人多い。



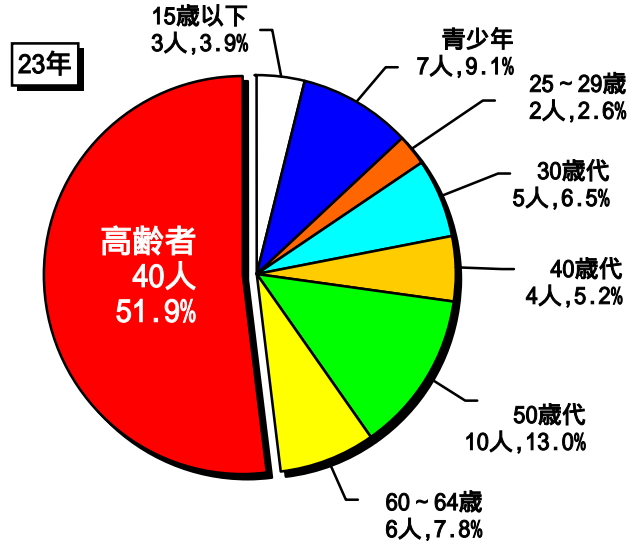
交通死亡事故の特徴

年齢層別死者数

年齢層別死者数(前年対比) **高齢者が5割以上**

「高齢者」(65歳以上)の死者が40人(全死者の51.9%)で最多、次いで「50歳代」(10人)。22年に比べ、「高齢者」(-6人)が最も減少、「60~64歳」、「15歳以下」(各+1人)が増加。

	死者数			構成率	
	23年	22年	増減	23年	22年
15歳以下	3	2	+1	3.9%	2.2%
青少年	7	11	-4	9.1%	12.0%
25~29歳	2	3	-1	2.6%	3.3%
30歳代	5	6	-1	6.5%	6.5%
40歳代	4	7	-3	5.2%	7.6%
50歳代	10	12	-2	13.0%	13.0%
60~64歳	6	5	+1	7.8%	5.4%
高齢者	40	46	-6	51.9%	50.0%
合計	77	92	-15	100.0%	100.0%



- 1 各年6月末現在。
- 2 「青少年」は16~24歳、「高齢者」は65歳以上。

主な年齢層別死者数の推移(平成14年~23年)

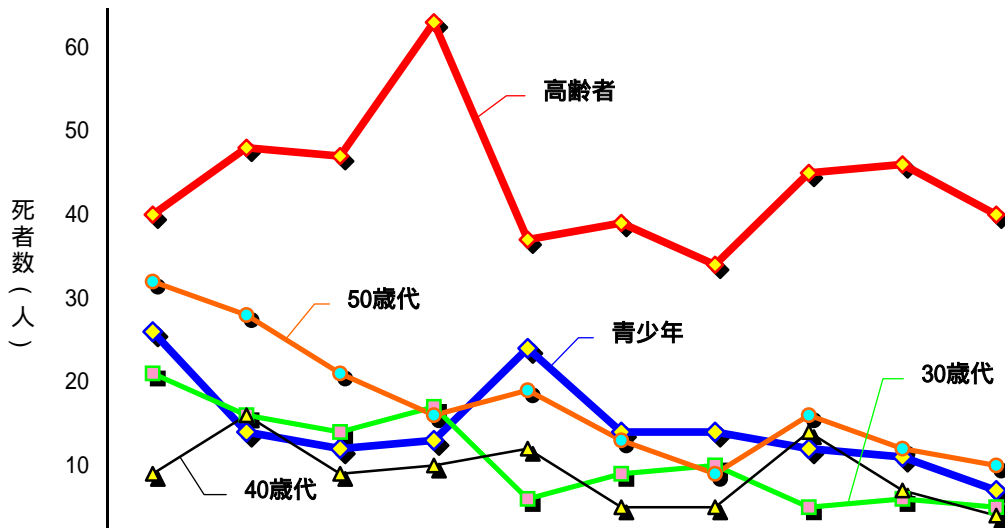
高齢者の構成率は、過去最高率を更新

「高齢者」は、平成6年から18年連続して最多年齢層。17年(63人)に過去最多を記録後、大幅に減少したが、21年から再び増加。対14年比は同数(±0人)。

「青少年」は、14年(26人)が最多。大幅な減少推移で、対14年比 - 19人、3割以下に減少し、本年最少。

「50歳代」(対14年比 - 22人)、「30歳代」(対14年比 - 16人)、「40歳代」(対14年比 - 5人)は減少推移で、本年最少。

減少しない「高齢者」に対し、「高齢者以外の年齢層」は大きく減少、相対的に高齢者構成率は上昇し、14年の25.3%から本年は51.9%と倍以上増加、上半期高齢者の統計資料の残る平成元年以降、最も高率。



	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対14年比
青少年	26	14	12	13	24	14	14	12	11	7	-19
30歳代	21	16	14	17	6	9	10	5	6	5	-16
40歳代	9	16	9	10	12	5	5	14	7	4	-5
50歳代	32	28	21	16	19	13	9	16	12	10	-22
高齢者	40	48	47	63	37	39	34	45	46	40	
高齢者構成率	25.3%	34.3%	39.2%	46.7%	32.5%	42.4%	39.5%	43.7%	50.0%	51.9%	

1 各年6月末現在。 2 「対14年比」は、23年 - 14年の値。 3 この表・グラフに「15歳以下」、「25~29歳」、「60~64歳」は含まない。

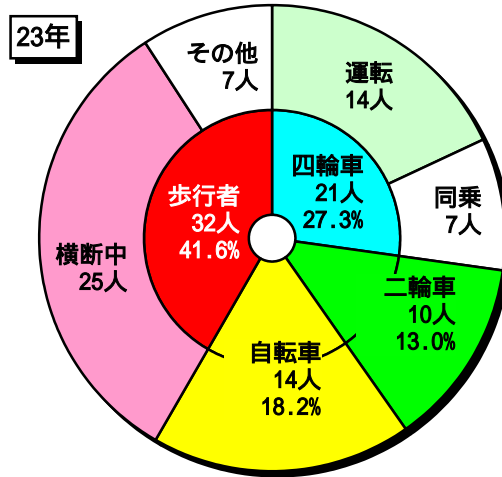
状態別死者数(前年対比)

歩行者が最多 特に横断中が多い

「歩行者」の死者が32人(全死者の41.6%)で最多、特に「横断中」(25人)が多い。次いで「四輪車」(21人)。22年に比べ、「歩行者」(+3人)特に「横断中」(+9人)が増加、「四輪車」(-11人)は大幅減少。

		死者数			構成率	
		23年	22年	増減	23年	22年
四輪車	運転	14	26	-12	18.2%	28.3%
	同乗	7	6	+1	9.1%	6.5%
四輪車計		21	32	-11	27.3%	34.8%
二輪車		10	17	-7	13.0%	18.5%
自転車		14	14		18.2%	15.2%
歩行者	横断中	25	16	+9	32.5%	17.4%
	その他	7	13	-6	9.1%	14.1%
歩行者計		32	29	+3	41.6%	31.5%
その他						
合計		77	92	-15	100.0%	100.0%

各年6月末現在。



状態別死者数の推移(平成14年～23年)

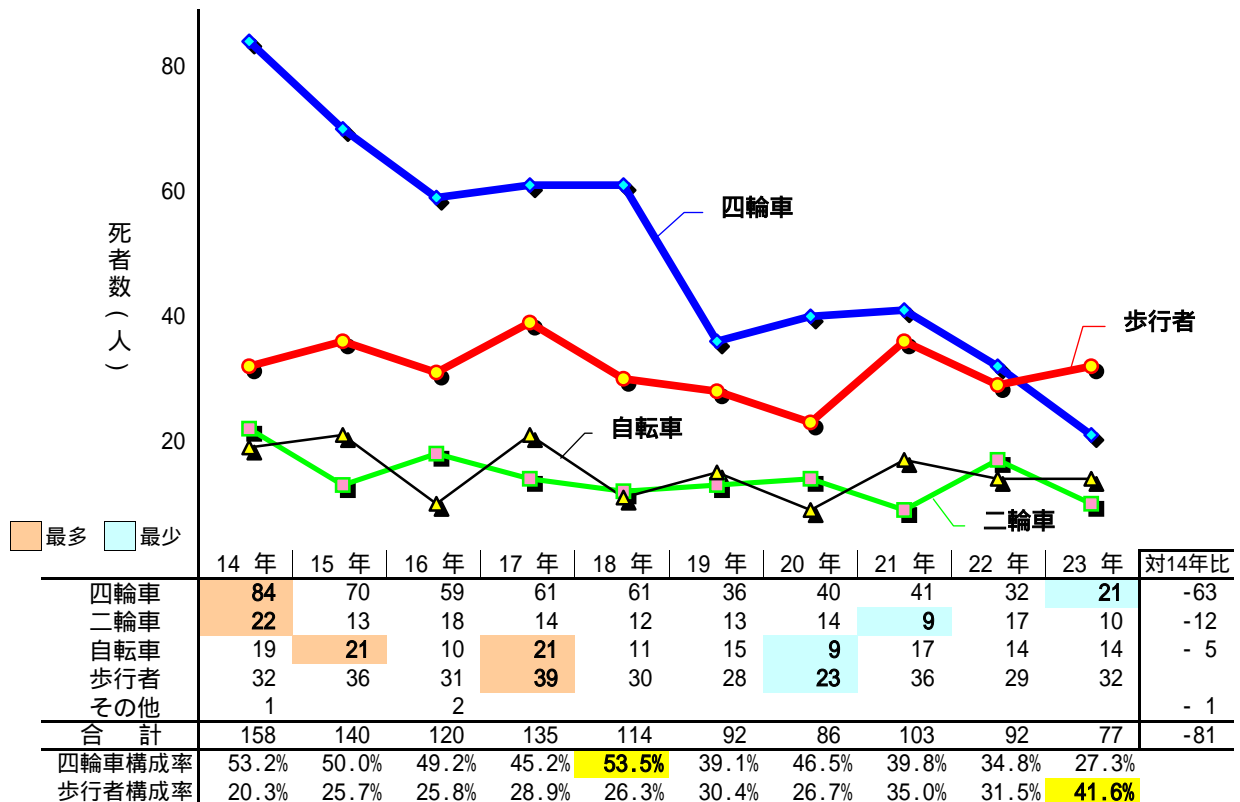
四輪車が1/4に減少

「歩行者」は、17年(39人)が最多。ほぼ横ばい推移で、対14年比は同数(±0人)。本年初めて「四輪車」と入れ替わり、状態別最多。

「四輪車」は、14年(84人)が最多。大幅な減少推移で、対14年比 - 63人、1/4(25.0%)に減少。14年～22年まで、連続して状態別最多から、本年「歩行者」と逆転。

「二輪車」、「自転車」は、緩やかな減少推移。

30人前後で横ばいで推移する「歩行者」対し、「四輪車」は21人まで減少、相対的に歩行者構成率は上昇し、14年の20.3%から本年は41.6%と倍以上増加し、最も高率。



各年6月末現在。 2 「対14年比」は、23年 - 14年の値。 3 このグラフに「その他」は含まない。

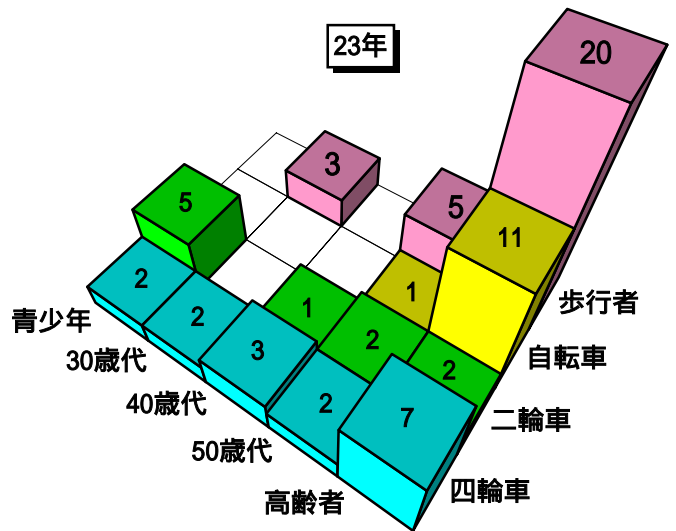
年齢層・状態別死者数

年齢層・状態別死者数(前年対比)

高齢者の歩行者が最多 特に横断中が多い

「高齢者の歩行者」が20人で最多、特に「横断中」(17人)が多い。次いで「高齢者の自転車」(11人)。22年に比べ、「高齢者の歩行者横断中」(+5人)が最も増加、「50歳代の四輪車」(-6人)、「高齢者の四輪車」(-5人)が大幅減少。

		四輪車	二輪車	自転車	歩行者	横断中	その他	合計
23年	青少年	2	5					7
	30歳代	2			3	2		5
	40歳代	3	1					4
	50歳代	2	2	1	5	4		10
	高齢者	7	2	11	20	17		40
	他の年齢	5		2	4	2		11
	合計	21	10	14	32	25		77
22年	青少年	3	5	3				11
	30歳代	4	1		1			6
	40歳代	2	1	1	3			7
	50歳代	8	2		2	1		12
	高齢者	12	6	9	19	12		46
	他の年齢	3	2	1	4	3		10
	合計	32	17	14	29	16		92
増減	青少年	-1	-3					-4
	30歳代	-2	-1		+2	+2		-1
	40歳代	+1	-1	-3	-3			-3
	50歳代	-6	+1	+3	+3			-2
	高齢者	-5	-4	+2	+1	+5		-6
	他の年齢	+2	-2	+1	-1			+1
	合計	-11	-7	+3	+9			-15

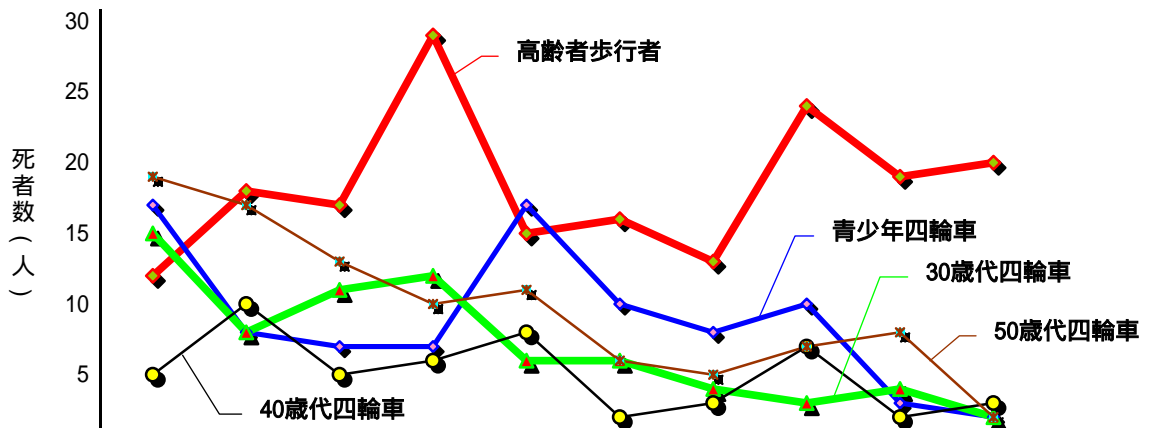


1 各年6月末現在。 2 「他の年齢」は「15歳以下」、「25～29歳」、「60～64歳」の計で、グラフには含まない。
3 「横断中」は「歩行者」の内数。

主な年齢層・状態別死者数の推移(平成14年～23年)

高齢者の歩行者は増加

「高齢者の歩行者」は、17年(29人)に急増後減少したが、21年から再び増加。対14年比+8人と増加。「50歳代の四輪車」(対14年比-17人)、「青少年の四輪車」(対14年比-15人)、「30歳代の四輪車」(対14年比-13人)が大幅減少し、本年最少。「40歳代の四輪車」は、対14年比-2人。



	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対14年比
高齢者歩行者	12	18	17	29	15	16	13	24	19	20	+8
青少年四輪車	17	8	7	7	17	10	8	10	3	2	-15
30歳代四輪車	15	8	11	12	6	6	4	3	4	2	-13
40歳代四輪車	5	10	5	6	8	2	3	7	2	3	-2
50歳代四輪車	19	17	13	10	11	6	5	7	8	2	-17

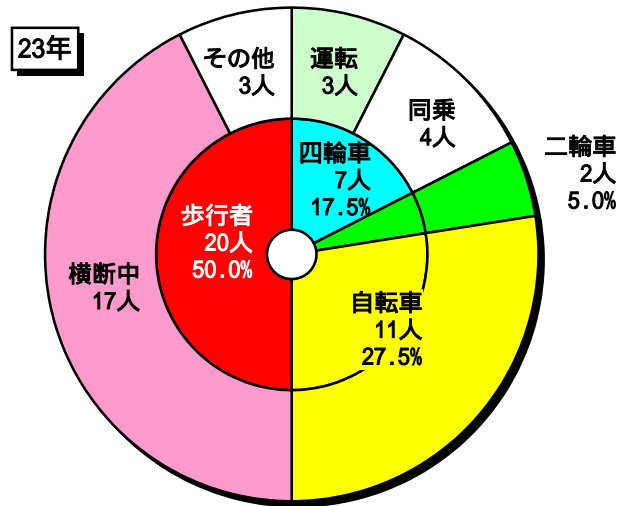
1 各年6月末現在。 2 「対14年比」は、23年-14年の値。

高齢者の状態別死者数

高齢者の状態別死者数(前年対比) **歩行者が5割** 特に横断中が多い

「歩行者」の死者が20人(高齢者死者の50.0%)で最多、特に「横断中」(17人)が多い。次いで「自転車」(11人)。
22年に比べ、「歩行者横断中」(+5人)が増加、「四輪車」(-5人)、特に「運転」(-6)が減少。

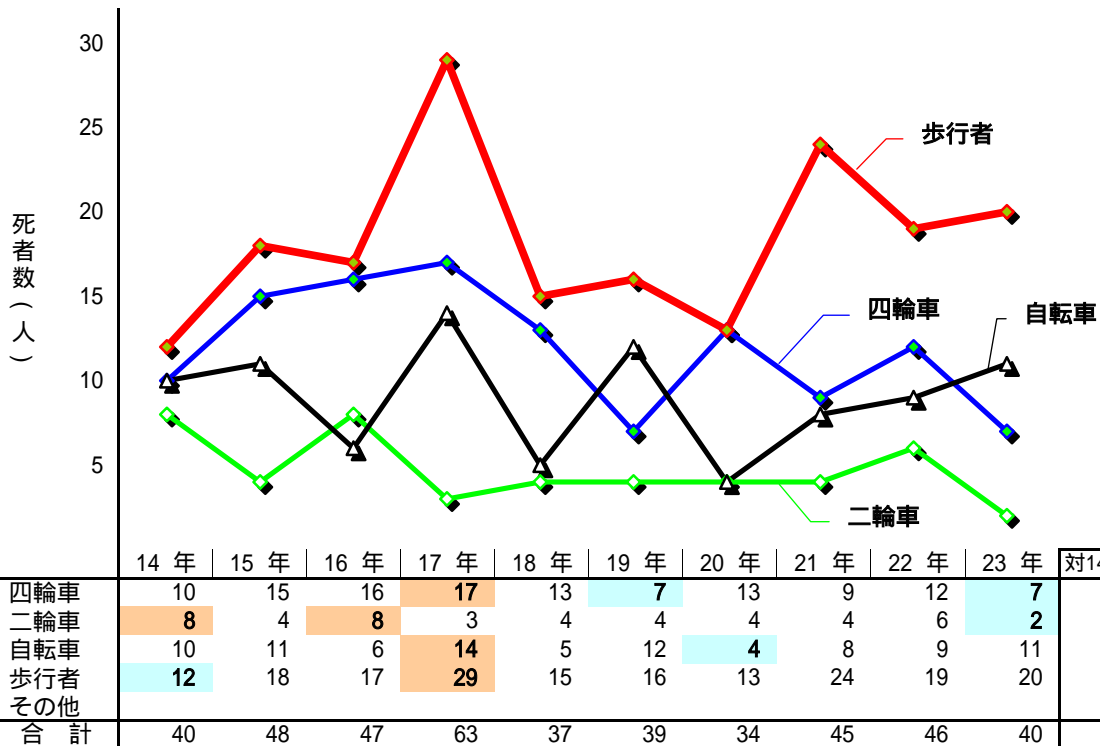
		死者数			構成率	
		23年	22年	増減	23年	22年
四輪車	運転	3	9	-6	7.5%	19.6%
	同乗	4	3	+1	10.0%	6.5%
四輪車計		7	12	-5	17.5%	26.1%
二輪車		2	6	-4	5.0%	13.0%
自転車		11	9	+2	27.5%	19.6%
歩行者	横断中	17	12	+5	42.5%	26.1%
	その他	3	7	-4	7.5%	15.2%
歩行者計		20	19	+1	50.0%	41.3%
その他						
合計		40	46	-6	100.0%	100.0%



1 各年6月末現在。 2 高齢者は65歳以上。

高齢者の状態別死者数の推移(平成14年~23年) **歩行者が大幅増**

「歩行者」は、17年(29人)の急増後減少したが、21年に再び増加、対14年比+8人と大幅増加。
「四輪車」は、17年(17人)まで増加後は減少傾向で、本年は19年と並び最少。対14年比-3人。
「二輪車」は、14年・16年(各8人)が最多。ほぼ横ばいから本年減少し最少。対14年比-6人。
「自転車」は、17年(14人)が最多。20年に4人まで減少後、21年から増加。対14年比+1人。



1 各年6月末現在。 2 高齢者は65歳以上。 3 「対14年比」は、23年-14年の値。

高齢者の年齢層別死者数

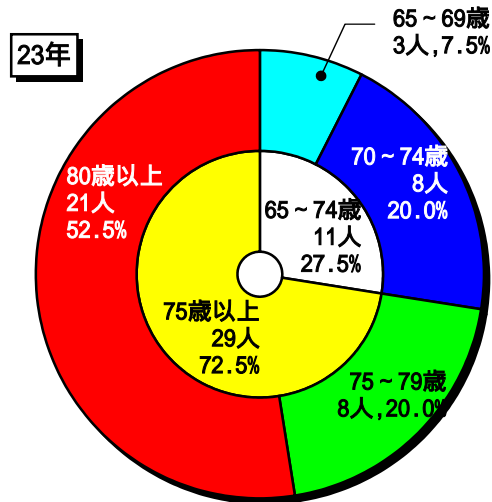
高齢者の年齢層別死者数(前年対比)

80歳以上が5割を超える

「80歳以上」が21人(高齢者死者の52.5%)で最多、「65～69歳」(3人)が最少。
 「75歳以上」の合計は29人(72.5%)。
 22年に比べ、「80歳以上」のみ同数(±0)、「65～69歳」(-4人)が最も減少、「65～74歳」(-5人)は減少。

	死者数			構成率	
	23年	22年	増減	23年	22年
65～69歳	3	7	-4	7.5%	15.2%
70～74歳	8	9	-1	20.0%	19.6%
75～79歳	8	9	-1	20.0%	19.6%
80歳以上	21	21	0	52.5%	45.7%
合計	40	46	-6	100.0%	100.0%
65～74歳	11	16	-5	27.5%	34.8%
75歳以上	29	30	-1	72.5%	65.2%

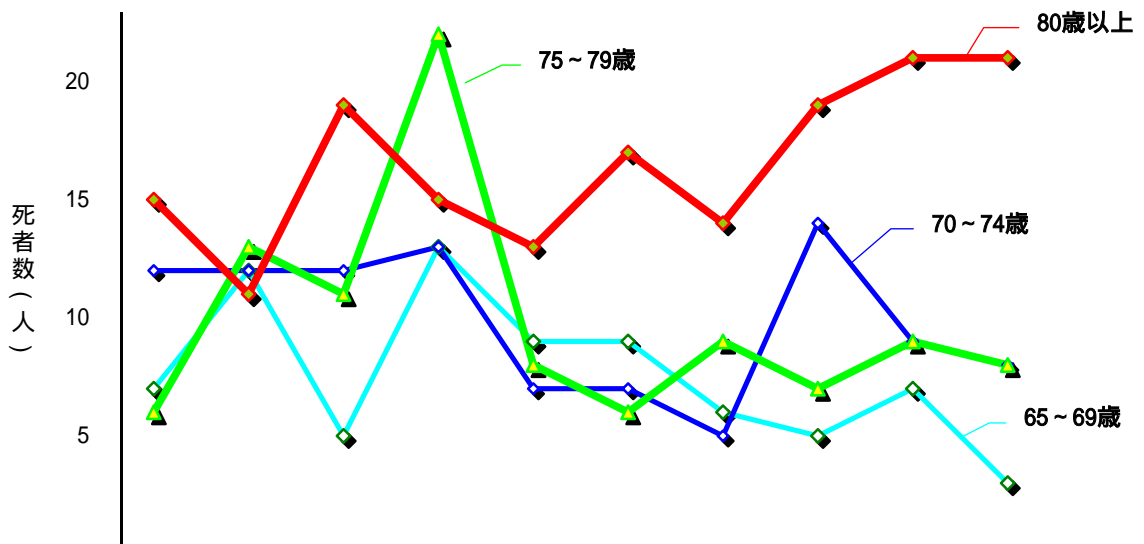
1 各年6月末現在。 2 高齢者は65歳以上。



高齢者の年齢層別死者数の推移(平成14年～23年)

80歳以上が増加

「80歳以上」は、21年から増加、本年(21人)は22年と並び最多。対14年比+6人と大幅増加。
 「65～69歳」は、17年(13人)が最多。以降緩やかな減少推移で、本年最少。対14年比-4人。
 「70～74歳」は、20年に5人まで減少後、21年(14人)に急増したが、以降減少。対14年比-4人。
 「75～79歳」は、17年(22人)に急増後減少し、以降横ばい。対14年比+2人。



	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対14年比
65～69歳	7	12	5	13	9	9	6	5	7	3	-4
70～74歳	12	12	12	13	7	7	5	14	9	8	-4
75～79歳	6	13	11	22	8	6	9	7	9	8	+2
80歳以上	15	11	19	15	13	17	14	19	21	21	+6

1 各年6月末現在。 2 高齢者は65歳以上。 3 「対14年比」は、23年-14年の値。

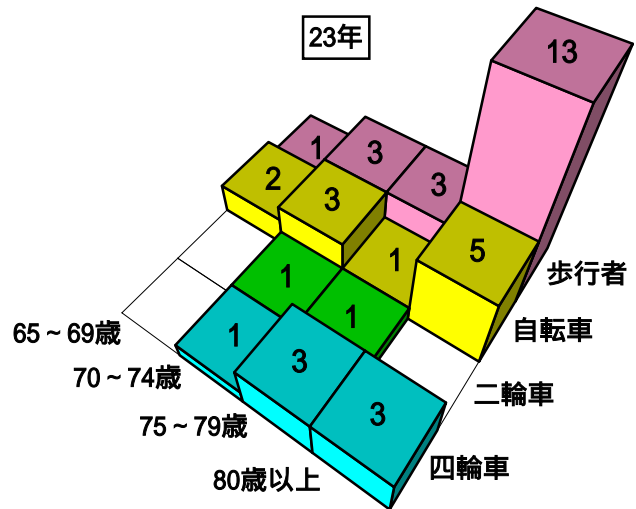
高齢者の年齢層・状態別死者数

高齢者の年齢層・状態別死者数(前年対比)

80歳以上の歩行者が最多

「80歳以上の歩行者」が13人で最多、特に「横断中」(11人)が多い。次いで「80歳以上の自転車」(5人)。22年に比べ、「80歳以上の歩行者」(+4人)、特に「横断中」(+6人)が増加、「80歳以上の二輪車」(-4人)が最も減少。

		四輪車	二輪車	自転車	歩行者	横断中	その他	合計
23年	65～69歳			2	1	1		3
	70～74歳	1	1	3	3	3		8
	75～79歳	3	1	1	3	2		8
	80歳以上	3		5	13	11		21
	合計	7	2	11	20	17		40
22年	65～69歳	2	2		3	3		7
	70～74歳	1		4	4	2		9
	75～79歳	4		2	3	2		9
	80歳以上	5	4	3	9	5		21
合計	12	6	9	19	12		46	
増減	65～69歳	-2	-2	+2	-2	-2		-4
	70～74歳		+1	-1	-1	+1		-1
	75～79歳	-1	+1	-1				-1
	80歳以上	-2	-4	+2	+4	+6		-6
	合計	-5	-4	+2	+1	+5		-6



1 各年6月末現在。 2 高齢者は65歳以上。 3 「横断中」は「歩行者」の内数。

高齢者の死者数全国ワースト順位

全国ワースト3位

本県の高齢者死者数40人は、全国ワースト3位(前年同期1位)。

全国の高齢者死者数は1,028人で、前年に比べ減少(-64人)、構成率(全死者数に占める割合)は48.7%で、本県(51.9%)が3.2ポイント高い。

全国の高齢者死者数 1,028人 -64人 構成率 48.7%

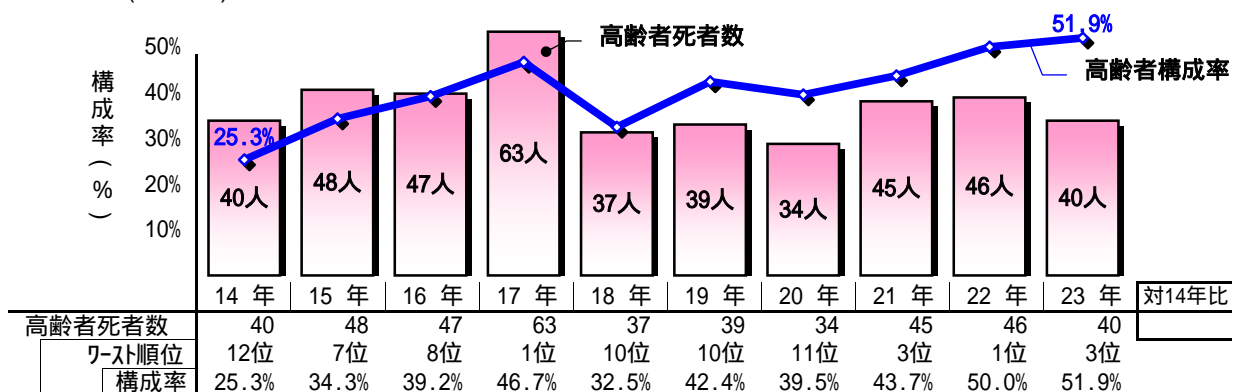
順位	都道府県	死者数	増減数	前年順位	高齢者構成率
1位	愛知	51	+8	2位	49.5%
2位	東京	45	+6	7位	42.1%
3位	茨城	40	-6	1位	51.9%
4位	埼玉	38	+6	14位	42.2%
4位	静岡	38	-4	3位	52.1%
6位	新潟	36	+11	17位	62.1%
6位	大阪	36	+2	11位	32.4%
8位	福岡	34	-7	6位	47.2%
9位	千葉	33	-9	3位	42.3%
10位	兵庫	32	-10	3位	36.4%

高齢者死者数とワースト順位・構成率の推移(平成14年～23年)

高齢者死者数は、17年(63人)が最多、次いで15年(48人)。

全国ワースト1位は、17年、22年の2回。21年以降は3位以内で推移。

横ばいで推移する「高齢者」に対し、高齢者以外が大きく減少したことにより、高齢者構成率は21年から増加し、本年(51.9%)は過去最高率を更新。



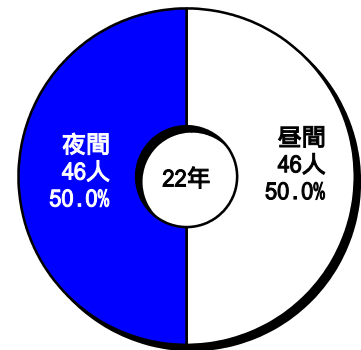
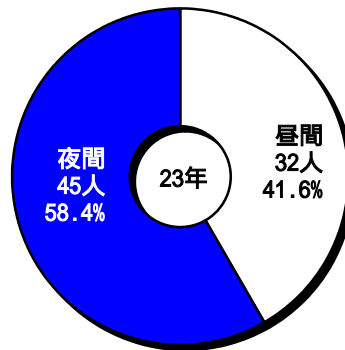
1 各年6月末現在。 2 高齢者は65歳以上。 3 「対14年比」は、23年 - 14年の値。

昼夜別死者数(前年対比)

夜間が約6割 昼間が減少

「夜間」が45人(全死者の58.4%)、「昼間」は32人(41.6%)。
22年に比べ「昼間」(-14)が大幅減少、「夜間」(-1人)は減少。

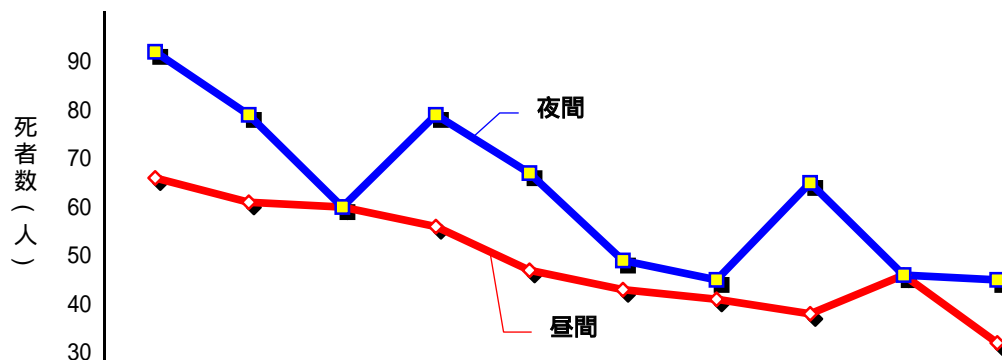
	死者数			構成率	
	23年	22年	増減	23年	22年
昼間	32	46	-14	41.6%	50.0%
夜間	45	46	-1	58.4%	50.0%
合計	77	92	-15	100.0%	100.0%



- 1 各年6月末現在。
- 2 昼夜の区分は、「日の出」、「日没」時刻を基準。

昼夜別死者数の推移(平成14年～23年)

「昼間」は、大幅な減少推移で、対14年比 -34人、5割以下に減少し、本年最少。
「夜間」も、大幅な減少推移で、対14年比 -47人、5割以下に減少し、本年は20年と並び最少。
16年、22年のみ昼夜同数、他の年は夜間が過半数を占める。



	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対14年比
	死者数(人)	92	79	60	79	67	49	45	65	46	45
構成率	58.2%	56.4%	50.0%	58.5%	58.8%	53.3%	52.3%	63.1%	50.0%	58.4%	

- 1 各年6月末現在。
- 2 「対14年比」は、23年 - 14年の値。

昼夜別第1当事者の違反別死者数の増減比較(平成23年・14年)

	夜間			昼間		
	23年	14年	増減	23年	14年	増減
脇見漫然	22	22	0	5	10	-5
一時不停止		4	-4	2	4	-2
最高速度	5	19	-14	2	6	-4
右側通行	3	8	-5	2	8	-6
酒酔い	2	6	-4	1		+1
信号無視		6	-6	1	1	0
その他	13	27	-14	19	37	-18
合計	45	92	-47	32	66	-34
悪質違反	10	39	-29	6	15	-9

夜間

「最高速度」(-14人)が最も減少
「悪質違反」(-29人)は夜間減少数の6割以上を占める
「脇見漫然」(±0人)は同数

昼間

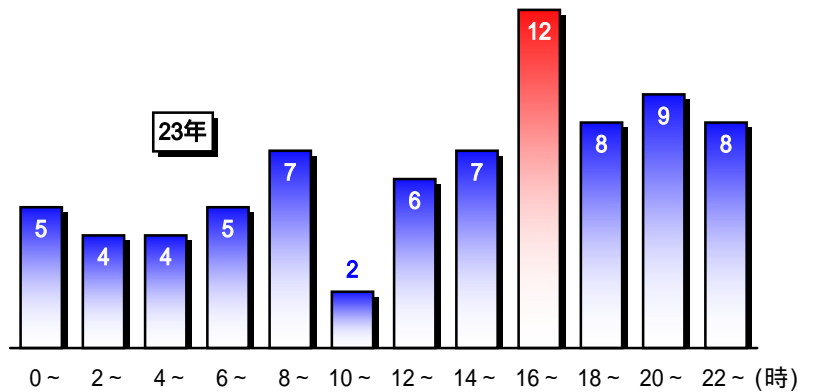
「右側通行」(-6人)、「脇見漫然」(-5人)の減少が多い
「悪質違反」(-9人)は昼間減少数の3割以下

- 1 各年6月末現在。
- 2 「増減」は、23年 - 14年の値。
- 3 「悪質違反」は、「最高速度」、「右側通行」、「酒酔い」、「信号無視」の計。

時間帯死者数(前年対比) **16~18時が最多**

「16~18時」が12人(全死者の15.6%)で最多、次いで「20~22時」(9人)。「10~12時」(2人)が最少。
22年に比べ、「20~22時」(+3)のみ増加、「14~16時」(-5人)が最も減少。

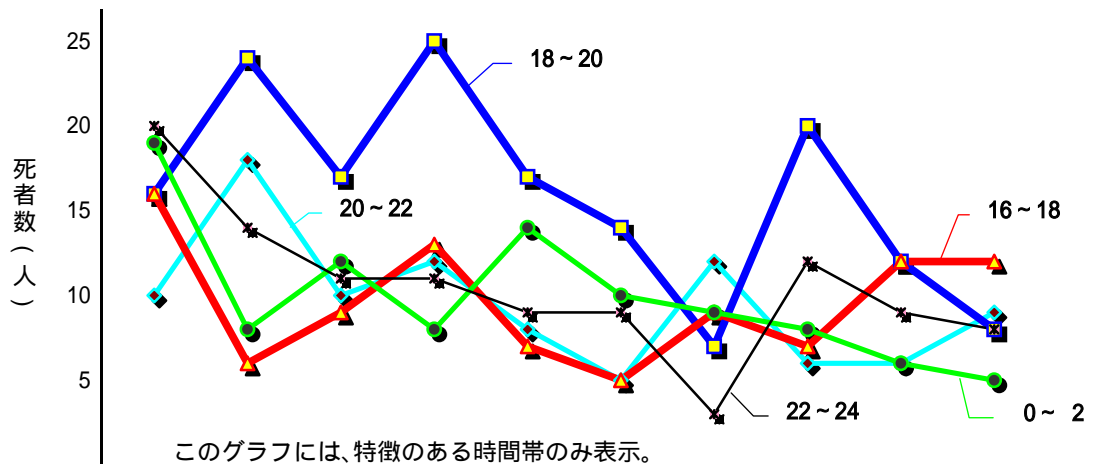
	死者数			構成率	
	23年	22年	増減	23年	22年
0~2	5	6	-1	6.5%	6.5%
2~4	4	4	0	5.2%	4.3%
4~6	4	5	-1	5.2%	5.4%
6~8	5	5	0	6.5%	5.4%
8~10	7	11	-4	9.1%	12.0%
10~12	2	2	0	2.6%	2.2%
12~14	6	8	-2	7.8%	8.7%
14~16	7	12	-5	9.1%	13.0%
16~18	12	12	0	15.6%	13.0%
18~20	8	12	-4	10.4%	13.0%
20~22	9	6	+3	11.7%	6.5%
22~24	8	9	-1	10.4%	9.8%
合計	77	92	-15	100.0%	100.0%



1 各年6月末現在。 2 「0~2時」には、0時丁度を含み、2時丁度を含まない。

時間帯別死者数の推移(平成14年~23年)

「16~18時」は、14年(16人)が最多。19年に5人まで減少したが、以降増加傾向。対14年比 - 4人。
「18~20時」は、15年~19年、21年~22年にかけて、最多時間帯。17年(25人)が最多。20年に7人まで減少後、翌21年に急増したが、以降大幅減少。対14年比 - 8人。
「20~22時」は、15年(18人)が最多。21年・22年に6人まで減少後、本年増加。対14年比 - 1人。
対14年比では、「0~2時」(-14人)が最も減少、次いで「22~24時」(-12人)。



	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対14年比
0~2	19	8	12	8	14	10	9	8	6	5	-14
2~4	12	7	6	8	12	8	6	9	4	4	-8
4~6	9	4	8	11	7	5	4	7	5	4	-5
6~8	15	16	11	9	13	7	10	6	5	5	-10
8~10	12	4	7	11	8	7	9	7	11	7	-5
10~12	12	7	9	8	7	4	5	4	2	2	-10
12~14	8	17	5	11	4	7	10	7	8	6	-2
14~16	9	15	15	8	8	11	2	10	12	7	-2
16~18	16	6	9	13	7	5	9	7	12	12	-4
18~20	16	24	17	25	17	14	7	20	12	8	-8
20~22	10	18	10	12	8	5	12	6	6	9	-1
22~24	20	14	11	11	9	9	3	12	9	8	-12
合計	158	140	120	135	114	92	86	103	92	77	-81

1 各年6月末現在。 2 「0~2時」には、0時丁度を含み、2時丁度を含まない。 2 「対14年比」は、23年 - 14年の値。

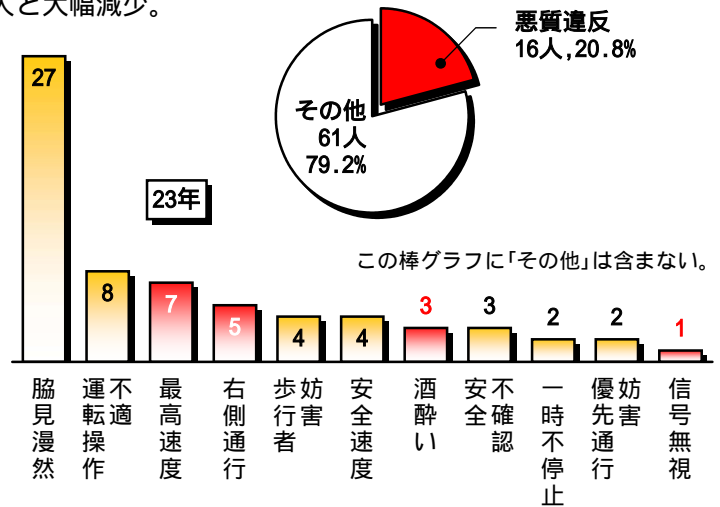
第1当事者の違反別死者数

第1当事者の違反別死者数(前年対比)

脇見漫然が最多で大幅増

「脇見漫然」が27人(全死者の35.1%)で最多、次いで「運転操作不適」(8人)。22年に比べ、「脇見漫然」(+12人)が最も増加、「最高速度」・「優先通行妨害」(各-7人)が最も減少。「悪質違反の合計」は16人で、22年に比べ-10人と大幅減少。

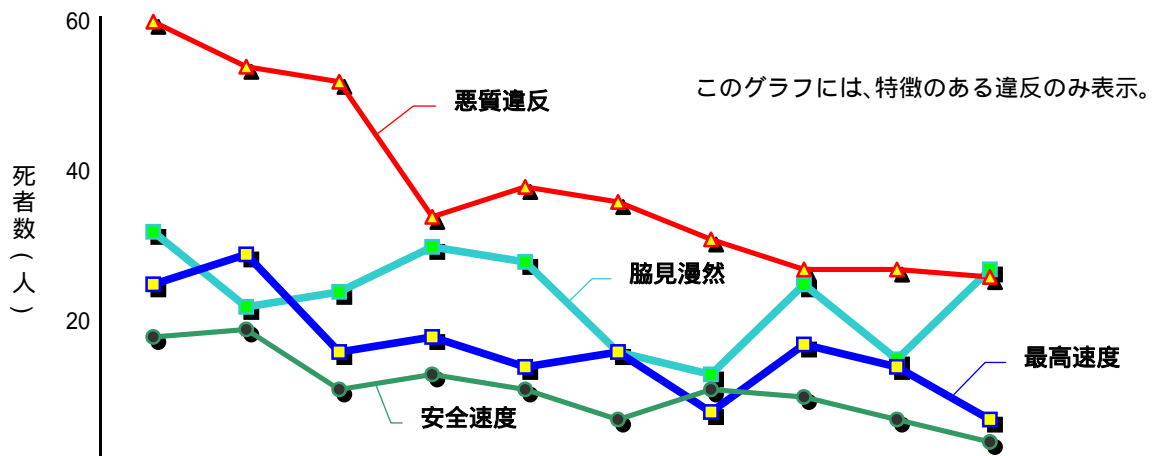
	死者数			構成率	
	23年	22年	増減	23年	22年
脇見漫然	27	15	+12	35.1%	16.3%
運転操作不適	8	12	-4	10.4%	13.0%
最高速度	7	14	-7	9.1%	15.2%
右側通行	5	7	-2	6.5%	7.6%
歩行者妨害	4	6	-2	5.2%	6.5%
安全速度	4	7	-3	5.2%	7.6%
酒酔い	3	1	+2	3.9%	1.1%
安全不確認	3	2	+1	3.9%	2.2%
一時不停止	2	2	0	2.6%	2.2%
優先通行妨害	2	9	-7	2.6%	9.8%
信号無視	1	4	-3	1.3%	4.3%
その他	11	13	-2	14.3%	14.1%
合計	77	92	-15	100.0%	100.0%
悪質違反計	16	26	-10	20.8%	28.3%



1 各年6月末現在。 2 「悪質違反」は、「信号無視」、「右側通行」、「最高速度」、「酒酔い」の計。

第1当事者の主な違反別死者数の推移(平成14年～23年)

「脇見漫然」は14年(32人)が最多。21年に増加後減少したが、本年急増。対14年比-5人。
 「最高速度」は15年(29人)が最多。大幅な減少推移で、本年最少。対14年比-18人。
 「安全速度」は15年(19人)が最多。大幅な減少推移で、本年最少。対14年比-14人。
 対14年比では、「運転操作不適」(+3人)が最も増加、「最高速度」(-18人)、「安全速度」(-14人)、「悪質違反」(-34人)の減少が多い。



	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対14年比
脇見漫然	32	22	24	30	28	16	13	25	15	27	-5
運転操作不適	5	6	11	8	9	8	8	5	12	8	+3
最高速度	25	29	16	18	14	16	8	17	14	7	-18
右側通行	16	13	12	11	12	10	12	5	7	5	-11
歩行者妨害	3	5	4	2	5	3	4	9	6	4	+1
安全速度	18	19	11	13	11	7	11	10	7	4	-14
酒酔い	6	5	6	8	9	1	4	3	1	3	-3
一時不停止	8	7	5	8	7	5	6	7	2	2	-6
優先通行妨害	7	6	13	5	9	3	6	5	9	2	-5
信号無視	7	5		1	1	4	3	2	4	1	-6
悪質違反	60	54	52	34	38	36	31	27	27	26	-34

1 各年6月末現在。 2 「対14年比」は、23年-14年の値。

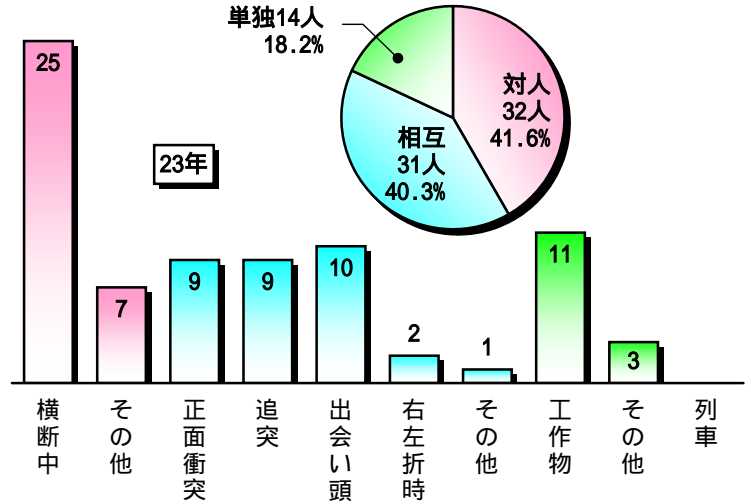
事故類型死者数(前年対比)

対人-横断中が最多で大幅増

「人对車両」が32人(全死者の41.6%)で最多、次いで「車両相互」(31人)、「車両単独」(14人)。小類型では「対人-横断中」(25人)が最多、次いで「単独-工作物」(11人)、「相互-出会い頭」(10人)。22年に比べ、「対人-横断中」(+9人)が最も増加、「相互-出会い頭」(-8人)が最も減少。

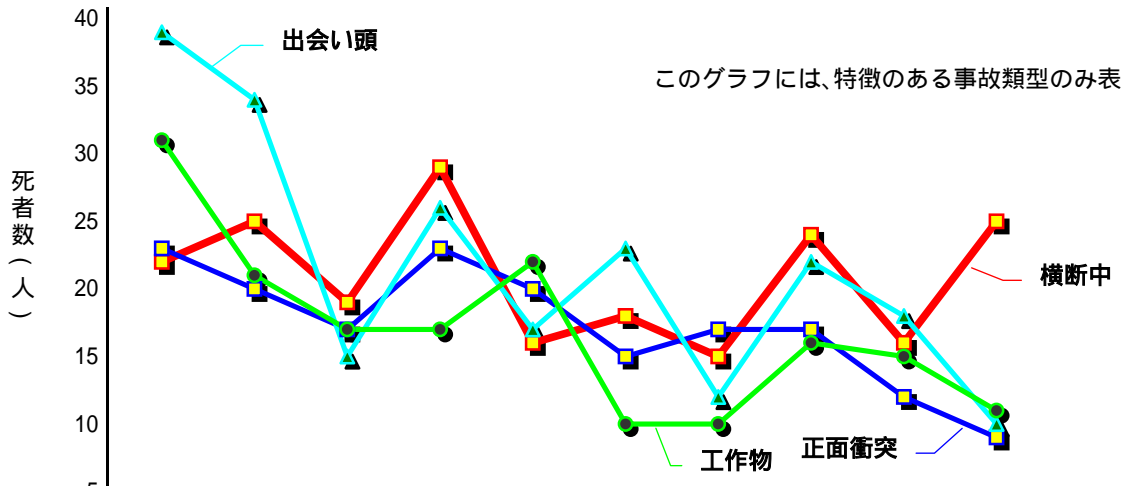
		死者数			構成率	
		23年	22年	増減	23年	22年
対人	横断中	25	16	+9	32.5%	17.4%
	その他	7	10	-3	9.1%	10.9%
	小計	32	26	+6	41.6%	28.3%
相互	正面衝突	9	12	-3	11.7%	13.0%
	追突	9	8	+1	11.7%	8.7%
	出会い頭	10	18	-8	13.0%	19.6%
	右左折時	2	6	-4	2.6%	6.5%
	その他	1	2	-1	1.3%	2.2%
	小計	31	46	-15	40.3%	50.0%
単独	工作物	11	15	-4	14.3%	16.3%
	その他	3	5	-2	3.9%	5.4%
	小計	14	20	-6	18.2%	21.7%
列車						
合計		77	92	-15	100.0%	100.0%

各年6月末現在。



事故類型別死者数の推移(平成14年～23年)

「横断中」は17年(29人)が最多。21年に増加後減少したが、本年急増。対14年比+3人。
 「正面衝突」は14年・17年(各23人)が最多。大幅な減少推移で、本年最少。対14年比-14人。
 「出会い頭」は14年(39人)が最多。大幅な減少推移で、本年最少。対14年比-29人。
 「工作物」は14年(31人)が最多。大幅な減少推移で、対14年比-20人。



このグラフには、特徴のある事故類型のみ表示。

		14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対14年比
対人	横断中	22	25	19	29	16	18	15	24	16	25	+3
	その他	10	9	11	10	13	10	8	11	10	7	-3
相互	正面衝突	23	20	17	23	20	15	17	17	12	9	-14
	追突	13	15	11	10	12	3	8	8	8	9	-4
	出会い頭	39	34	15	26	17	23	12	22	18	10	-29
	右左折時	10	5	11	8	7	4	5	1	6	2	-8
	その他	5	5	4	4	3	2	4	2	2	1	-4
	単独	工作物	31	21	17	17	22	10	10	16	15	11
その他	4	5	15	8	4	7	7	2	5	3	-1	
列車		1	1									-1
合計		158	140	120	135	114	92	86	103	92	77	-81

各年6月末現在。 2「対14年比」は、23年-14年の値。

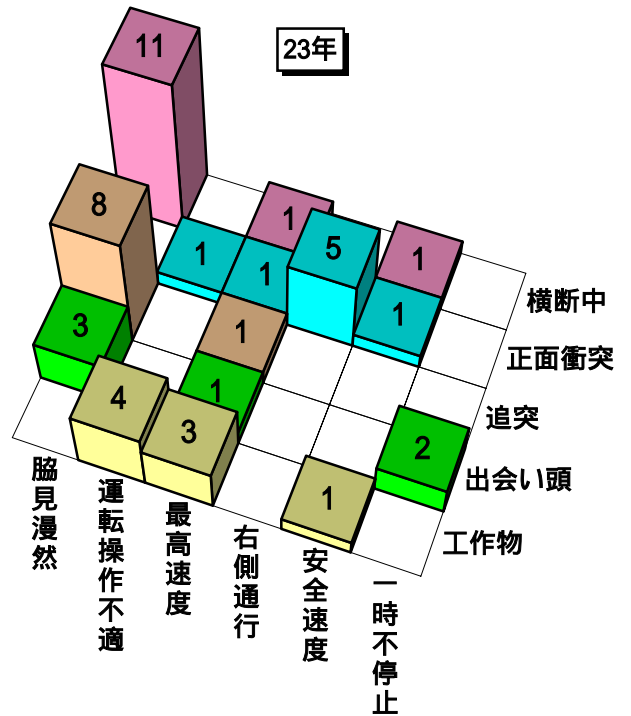
第1当事者の違反・事故類型別死者数

第1当事者の違反・事故類型別死者数(前年対比)

脇見漫然による横断中が最多

「脇見漫然による横断中」が11人で最多、次いで「脇見漫然による追突」(8人)。
22年に比べ、「脇見漫然による横断中」(+8人)が最も増加、「運転操作不適・最高速度による工作物」(各-3人)が最も減少。

		対人				単独 工作物	その他	合計
		横断中	正面衝突	追突	出会い頭			
23年	脇見漫然	11		8	3		5	27
	運転操作不適		1			4	3	8
	最高速度	1	1	1	1	3		7
	右側通行		5					5
	安全速度	1	1			1	1	4
	一時不停止				2			2
	その他	12	1		4	3	4	24
合計		25	9	9	10	11	13	77
22年	脇見漫然	3	2	5	1		4	15
	運転操作不適			1	1	7	3	12
	最高速度	3	1	2	1	6	1	14
	右側通行		7					7
	安全速度	2				2	3	7
	一時不停止				2			2
	その他	8	2		13		12	35
合計		16	12	8	18	15	23	92
増減	脇見漫然	+8	-2	+3	+2		+1	+12
	運転操作不適		+1	-1	-1	-3		-4
	最高速度	-2		-1		-3	-1	-7
	右側通行		-2					-2
	安全速度	-1	+1			-1	-2	-3
	一時不停止							
	その他	+4	-1		-9	+3	-8	-11
合計	+9	-3	+1	-8	-4	-10	-15	

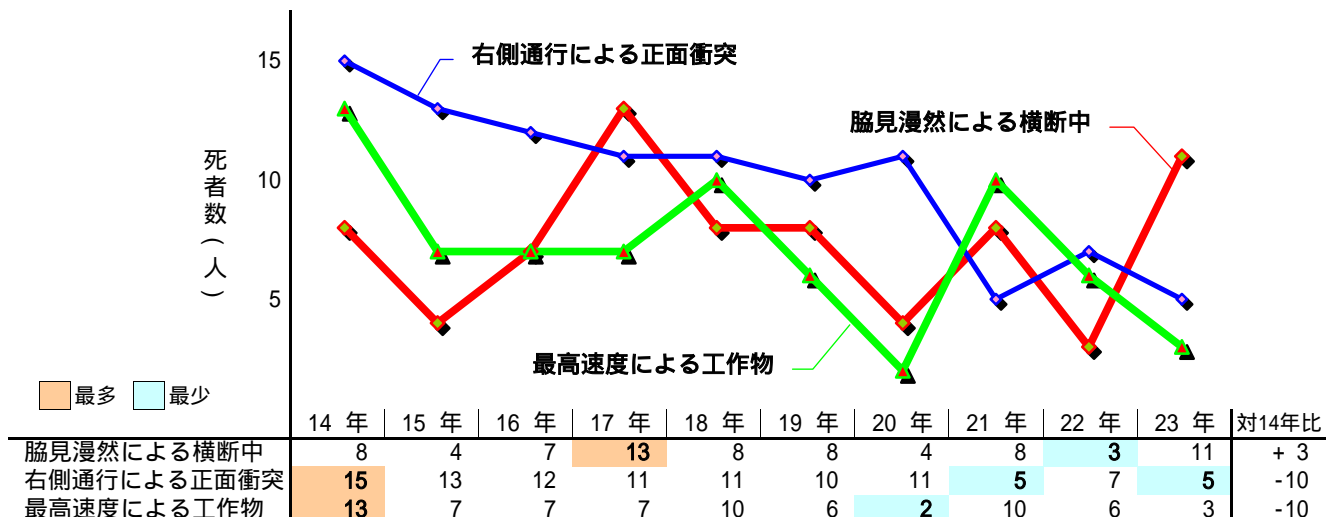


1 各年6月末現在。

2 事故類型の「その他」は、「対人他」、「相互-右左折時」、「相互他」、「単独他」、「列車」の計で、グラフには含まない。

主な第1当事者の違反・事故類型別死者数の推移(平成14年~23年)

「脇見漫然による横断中」は、17年(13人)が最多。22年に3人まで減少後増加。対14年比+3人。
「右側通行による正面衝突」は、14年(15人)が最多。大幅な減少推移で、対14年比-10人。
「最高速度による工作物」は、14年(13人)が最多。21年に増加後減少し、対14年比-10人。



1 各年6月末現在。

2 「対14年比」は、23年-14年の値。

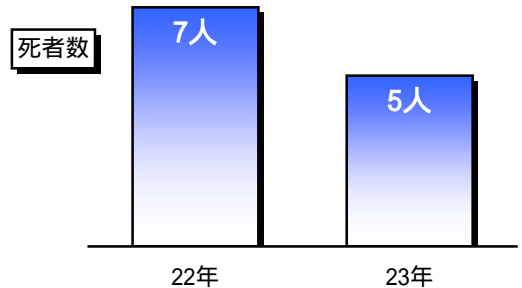
飲酒運転による死者数

飲酒運転による死亡事故(前年対比)

死者は5人 前年より減少

死亡事故件数は5件(全死亡事故の6.7%)、死者数は5人(全死者の6.5%)。死者数は、22年に比べ減少(-2人)、構成率も22年(7.6%)に比べ減少(-1.1ポイント)。

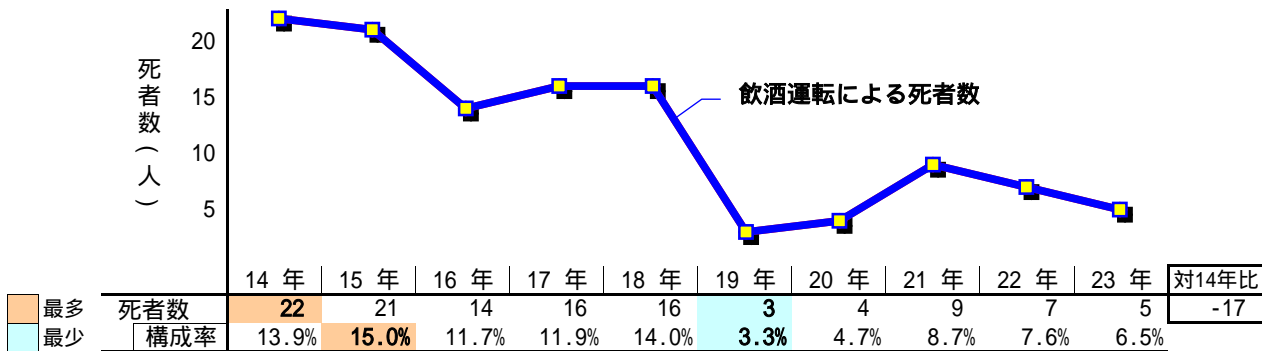
	増減			構成率	
	23年	22年	増減	23年	22年
死亡事故件数	5	7	-2	6.7%	7.8%
死者数	5	7	-2	6.5%	7.6%



- 各年6月末現在。
- 「飲酒運転」は、原付以上の運転者が第1当事者となった事故。死者数はその事故による被害で、飲酒運転者が死亡しているとは限らない。

飲酒運転による死者数の推移(平成14年～23年)

14年(22人)が最多。19年に3人まで減少後、21年まで増加し減少。対14年比 -17人、約2割に減少。構成率は、15年(15.0%)が最高率、19年(3.3%)まで減少後は、9%以下で推移。



- 各年6月末現在。
- 「対14年比」は、23年 - 14年の値。

飲酒運転による死者数
全国ワースト順位

全国ワースト6位

本県の飲酒運転による死者数5人は、全国ワースト6位(前年同期3位)。

全国の飲酒運転による死者数は124人で、前年に比べ減少(-7人)、構成率(全死者数に占める割合)は5.9%で、本県(6.5%)が0.6ポイント高い。

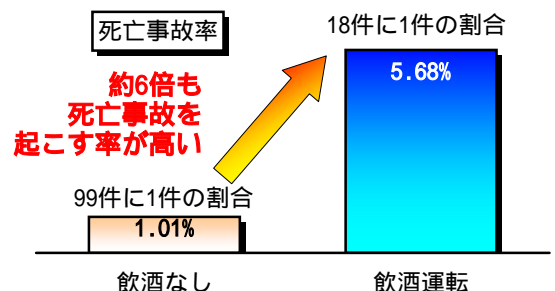
全国の飲酒運転による死者数 124人 -7人 構成率 5.9%

順位	都道府県	死者数	増減数	前年順位	23年構成率
1位	大阪	9	+4	7位	8.1%
2位	埼玉	8	+4	9位	8.9%
2位	兵庫	8	+1	3位	9.1%
4位	鹿児島	6	+6	42位	16.7%
4位	神奈川	6		5位	7.6%
6位	宮崎	5	+3	21位	20.8%
6位	栃木	5	-1	5位	9.1%
6位	茨城	5	-2	3位	6.5%
9位	沖縄	4	+2	21位	18.2%
9位	静岡	4	+1	17位	5.5%

運転者の死亡事故率比較(平成23年6月末)

飲酒運転者は、飲酒なしの運転者に比べ、約6倍も死亡事故を起こす率(死亡事故率)が高い。

	運転者 飲酒有無		合計(平均)
	飲酒なし	飲酒運転	
死亡事故件数	69	5	74
発生件数	6,849	88	6,937
死亡事故率	1.01%	5.68%	1.07%



- 「死亡事故率」= (原付以上第1当事者の死亡事故件数) ÷ (原付以上第1当事者の全発生件数) × 100
- 第1当事者のうち、「自転車」・「ひき逃げ不明」を除く。

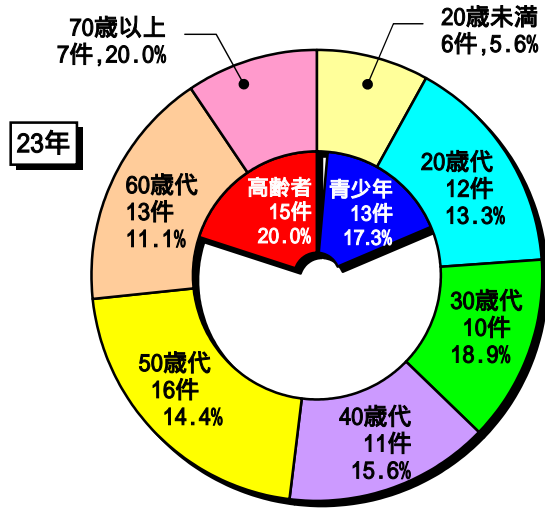
第1当事者の年齢層別死亡事故件数

第1当事者の年齢層別死亡事故件数(前年対比)

50歳代が最多

「50歳代」が16件(全死亡事故の21.3%)で最多、次いで「60歳代」(13件)。22年に比べ「50歳代」・「60歳代」(各+3件)が最も増加、「高齢者」(-8件)、特に「70歳以上」(-11件)が大幅減少。「青少年」(13件)は増加(+1件)。

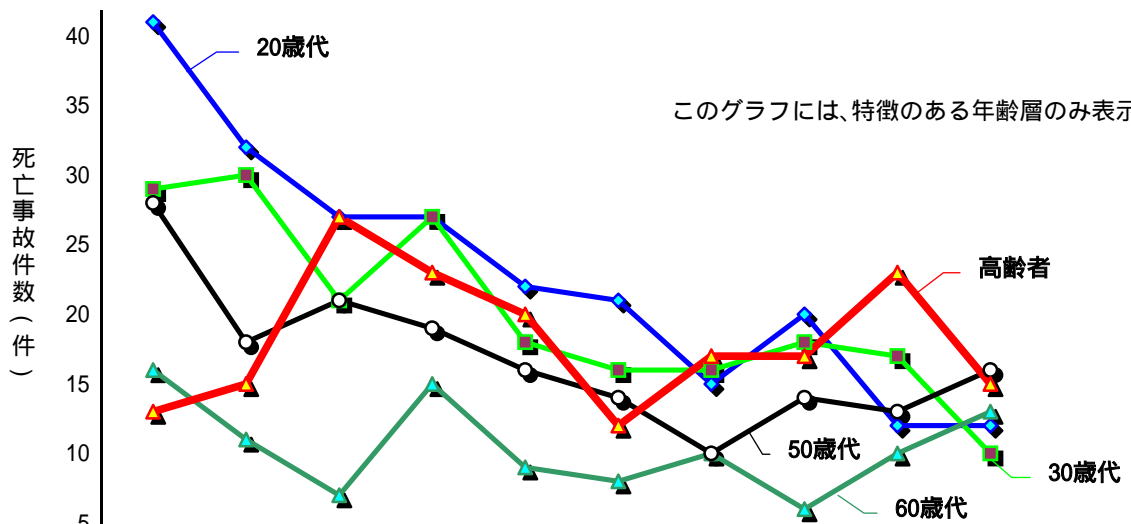
	死亡事故件数			構成率	
	23年	22年	増減	23年	22年
20歳未満	6	5	+1	8.0%	5.6%
20歳代	12	12		16.0%	13.3%
30歳代	10	17	-7	13.3%	18.9%
40歳代	11	14	-3	14.7%	15.6%
50歳代	16	13	+3	21.3%	14.4%
60歳代	13	10	+3	17.3%	11.1%
70歳以上	7	18	-11	9.3%	20.0%
不明		1	-1		1.1%
合計	75	90	-15	100.0%	100.0%
内 青少年	13	12	+1	17.3%	13.3%
数 高齢者	15	23	-8	20.0%	25.6%



- 1 各年6月末現在。
- 2 「青少年」は16～24歳、「高齢者」は65歳以上で、内数。

第1当事者の年齢層別死亡事故件数の推移(平成14年～23年)

「20歳代」は、14年(41件)が最多。大幅な減少推移で、22年と並び最少。対14年比 - 29件。
 「50歳代」は、14年(28件)が最多。20年に10件まで減少後、増加傾向。対14年比 - 12件。
 「60歳代」は、14年(16件)が最多。21年に6件まで減少後、増加。対14年比 - 3件。
 「高齢者」は、16年(27件)が最多。19年に12件まで減少後、22年まで増加し、本年減少。対14年比 + 2件。
 対14年比で、増加は「高齢者」(+2件)のみ。「20歳代」(-29件)、「青少年」(-23件)、「30歳代」(-19件)が大幅減少。



	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	対14年比
20歳未満	12	9	2	8	11	10	6	8	5	6	-6
20歳代	41	32	27	27	22	21	15	20	12	12	-29
30歳代	29	30	21	27	18	16	16	18	17	10	-19
40歳代	19	22	15	17	16	9	11	20	14	11	-8
50歳代	28	18	21	19	16	14	10	14	13	16	-12
60歳代	16	11	7	15	9	8	10	6	10	13	-3
70歳以上	7	10	24	15	16	11	13	14	18	7	
内 青少年	36	30	17	20	20	21	15	21	12	13	-23
数 高齢者	13	15	27	23	20	12	17	17	23	15	+2

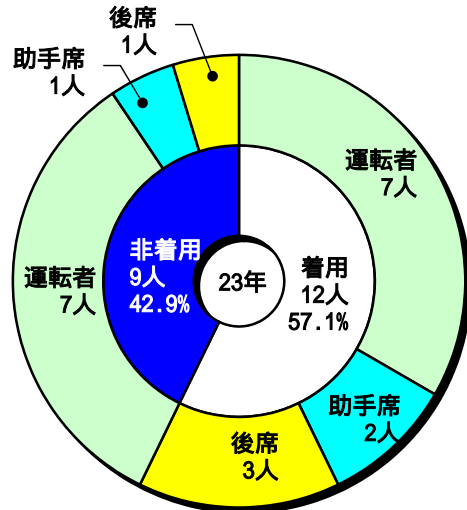
- 1 各年6月末現在。
- 2 「対14年比」は、23年 - 14年の値。
- 3 「青少年」は16～24歳、「高齢者」は65歳以上で、内数。

シートベルト着用別死者数

シートベルト着用別死者数(前年対比) **着用が約6割**

「着用」が12人(四輪車死者の57.1%)、「非着用」は9人(42.9%)。
 「非着用」の9人中、7人(77.8%)は、シートベルトを着用していれば、助かった可能性あり。
 着座別では、「着用の運転者」・「非着用の運転者」(各7人)が最も多い。
 22年に比べ、「着用」(-3人)、「非着用」(-8)とも減少。

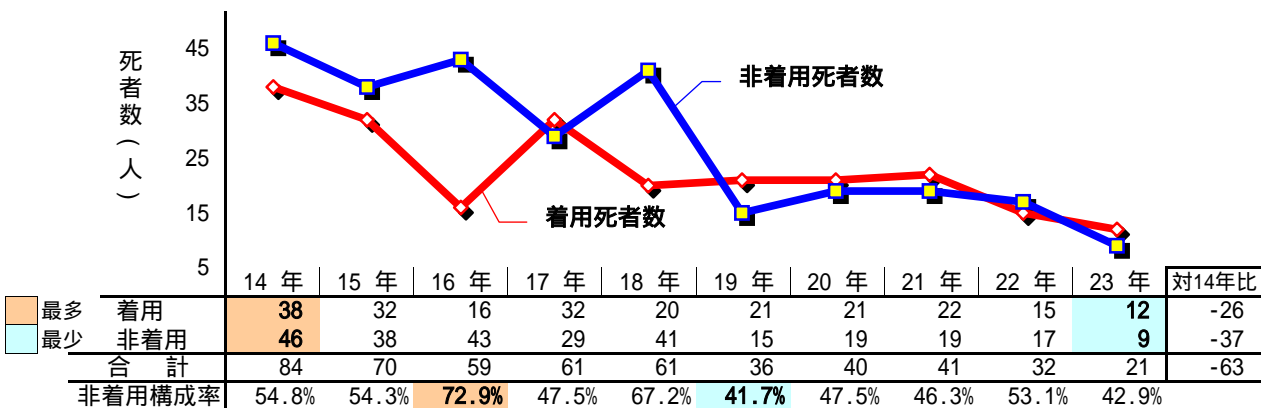
		死 者 数		
		23 年	22 年	増 減
着用	運転者	7	14	- 7
	助手席	2	1	+ 1
	後席	3		+ 3
	合 計	12	15	- 3
		構成率	57.1%	46.9%
非着用	運転者	7	12	- 5
	助手席	1	3	- 2
	後席	1	2	- 1
	合 計	9	17	- 8
		構成率	42.9%	53.1%
非着用死者中、着用ならば		7	9	- 2
助かった可能性あり		構成率	77.8%	52.9%



1 各年6月末現在。 2 四輪車には、トラクター等の農耕車を含む。

シートベルト着用別死者数の推移(平成14年～23年)

四輪車死者数の大幅な減少に伴い、「着用」、「非着用」とも、大幅な減少推移で、本年最少。
 「非着用」の構成率は16年(72.9%)が最高率、本年(42.9%)は19年(41.7%)に次ぎ低い。

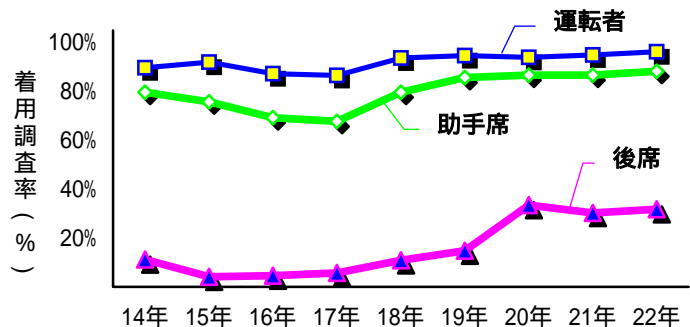


1 各年6月末現在。 2 「対14年比」は、23年 - 14年の値。

シートベルト着用率の推移(平成14年～22年) **後席の着用率は約3割**

「運転者」、「助手席」とも、過去最高率を更新。
 「後席」は、15年～17年の低率(10%以下)から向上したが、22年は31.8%と、運転者(96.3%)、助手席(88.3%)に比べ、着用率が大幅に低い。

	着 用 率		
	運転者	助手席	後 席
14 年	89.7%	79.7%	11.2%
15 年	92.0%	75.8%	4.1%
16 年	87.3%	69.3%	4.6%
17 年	86.6%	67.8%	5.7%
18 年	93.7%	79.7%	10.9%
19 年	94.7%	85.7%	14.8%
20 年	94.0%	86.7%	33.5%
21 年	95.0%	86.7%	30.3%
22 年	96.3%	88.3%	31.8%



「着用率」は、JAFと警察の共同調査結果で、茨城県内の数値。